

笠岡工業高校生を対象とした現場見学会を開催しました！

令和6年12月3日



10月23日（水）に、県立笠岡工業高校の生徒を対象として、一般国道2号笠岡バイパスと一般国道180号総社・一宮バイパスの工事について現場見学会を開催しましたので、その様子をお伝えします。

午前の現場

令和5年度笠岡バイパス入江高架橋第2鋼上部工事

午後の現場

令和5年度総社一宮バイパス松尾地区改良工事



始めに、県立笠岡工業高校の教室をお借りして、岡山国道事務所の若手職員が一般国道2号笠岡バイパスの事業説明を行いました。

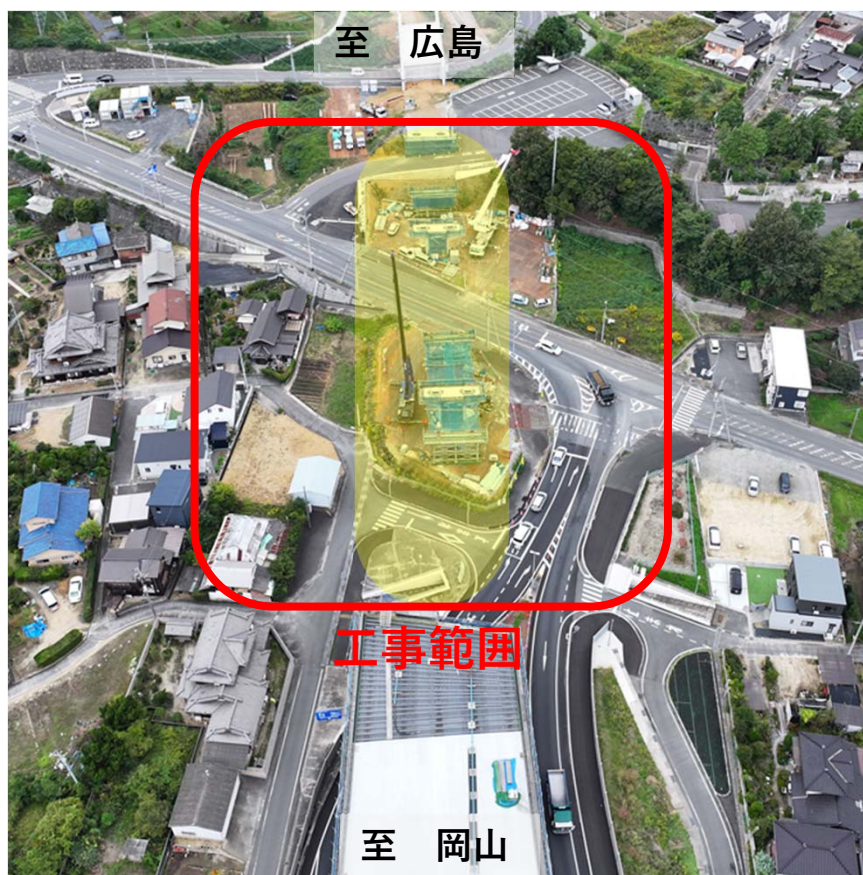


次に、現場を施工している株式会社横河ブリッジの担当者による鋼橋についての説明の様子です。

午前の現場へ移動しました。一般国道2号笠岡バイパスの「令和5年度笠岡バイパス入江高架橋第2鋼上部工事」の現場を見学します。



午前の現場は
ココです！



本工事は、**ココ** に橋を架ける工事です。

まずは、現場を施工している株式会社横河ブリッジの担当者から工事の内容について説明を行いました。



橋の床版を支える橋桁。大きい。
1枚当たり約8t～10t、合計で265tの重さに。



クレーンによる架設は通行止めを伴うため、
昼間に橋桁の仮組立を行い、夜間に多軸台車に乗せ運搬、架設します。
今回は、橋桁の搬入と荷卸し、地組について見学しました。



高校生から、現場担当者へ質問を行っている様子です。



者怖じせず、しっかりと
確認したいことを質問していました！



採用1年目の若手職員

次の現場へ移動！

午後からは、一般国道180号総社・一宮バイパスの
「令和5年度総社一宮バイパス松尾地区改良工事」の現場を見学します。



午後の現場は
ココです！



岡山国道事務所
現場担当



(株)西崎工務店
現場代理人



熱心に説明を聞く、笠岡工業高校生

まずは、当事務所職員から一般国道180号総社・一宮バイパス事業についての説明を、次に現場を施工している株式会社西崎工務店の担当者から工事の内容について説明を行いました。

まずは、工事で使用しているICTを用いた重機について、説明を受けました。実際に運転席に座って、操作もしてみました。

①ICTブルドーザー



②ICTバックホウ



③ICT振動ローラ



ICT重機によって、
重機運転経験が浅くても精度良く工事が出来ます。

次のページから①～③の様子をご紹介します。



①ICTブルドーザの説明の様子です。
生徒たちが順番に運転席に座って、説明を受けています。



○重機の操作が「楽」に！



衛星から機械の位置情報を取得することで、目標の盛土の高さとの誤差や、勾配を一目で確認出来ます。

ICTによって、
簡単に土を決められた高さまで綺麗に整地をすることができます。



※カラーコーンの外側から撮影しています。撮影者は安全です。

次に、②ICTバックホウの説明の様子です。
生徒たちが順番に運転席に座って、操縦しています。



私も、操縦席に座らせていただきました。



バックホウのアームの先が、
今どこの「高さ」にあるのか画面で
確認ができます。
操縦席に座り、前方を確認しながら、
横から見た状態も確認できるんです！

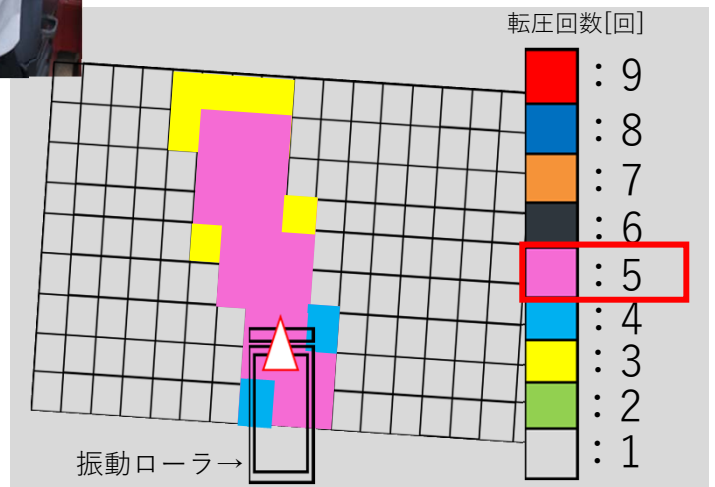
最後の③ICT振動ローラの説明の様子です。
生徒たちが運転席に座って、画面を見ながら説明を聞いています。



図で表すと↓

振動ローラが通過し転圧したところは、画面に着色されています。
今回、
転圧回数が**5回**のところは、

ピンク色がついています。





次に、少し移動して、
 施工中の水路と、カルバートについて見学をしました。



カルバートの中を通り抜ける水路は身長と同じくらいの高さです。



型枠がガッチリと
 固定されています。



現場担当に
質問している様子です。
活発に質問していました！

最後に、株式会社西崎工務店へ、お礼の挨拶を行いました。



(一同) ありがとうございました！！

『現場なう』では、
引き続き工事現場の様子や、
現場見学会の様子などをお伝えします。

